

SYNESTHESIA委員会

委員長 谷本 信志

[スローガン]

～共感覚って大事じゃけえ～

[基本方針]

皆さんは共感覚という言葉を目にした事があるでしょうか。

共感覚とは、ある1つの刺激に対して、通常感覚だけではなく異なる種類の感覚も自動的に生じる知覚現象のことです。つまり1つの物事に対して同時に様々なものを見たり、感じたりするということです。

これは思考も同じで、1つの意見に対して人によって様々な意見や考えが存在します。物事を一方からとらえるのではなく、様々な角度からとらえることで、より良い考えや活動につなげることができます。私は呉青年会議所に入会し、多くの仲間との関わりの中で、この一種の共感覚、様々なものとのとらえ方の重要性を体験し、学びました。

組織として何かを実行するためには、決して自分だけの固定概念にとらわれてはいけません。様々な視点で物事を考える事、様々な発想が同時に浮かぶことは、時として考えがまとまってないとか、優柔不断と思われることでしょうか。しかし、互いを知り、互いを理解する事、多種多様な共感覚を共有する事で、私は人間として成長する事が出来ました。呉青年会議所はその共感覚を体験でき、得られる場所です。人間成長が遂げられる場所です。だからこそ私は一人でも多くの若者にこの呉青年会議所という組織を知ってもらいたいのです。

時には肩の力を抜いて楽しむもよし、本音をぶつけ合うのもよし。趣味嗜好を通すことで、お互いをより良く知ることができ、本音を語れる環境がつかれると思います。呉青年会議所でそのような環境を作り、多様性を受け入れることで若者の分け隔てのない活力ある意見や行動が組織の向上に繋がります。

固定概念を捨てた様々な事業を通じて魅力を発信していきます。

[事業計画]

1. 事業名：2月担当例会
目的：事業計画を周知する
方法：プレゼンテーション等

2. 事業名：共感覚共有事業その1
「JCってどがあなとこ？」(仮)
目的：呉の若者に青年会議所を認知してもらう
方法：レクリエーション等

3. 事業名：共感覚共有事業その2
「どうすりゃええんじやろ？」(仮)
目的：呉で働く若者に未来について共感してもらう
方法：異業種交流会

4. 事業名：7月担当例会
目的：事業計画を周知する
方法：プレゼンテーション等

5. 事業名：共感覚共有事業その3
「いっぶくしてやらんかい」(仮)
目的：呉の若者に団結力を構築してもらう
方法：参加体験型事業の実施

6. その他